

久留島武彦 くわじま たけひこ 兒童文學者。明治七年六月十九日大分縣生れ、昭和二十五年六月二十七日歿（八十四）（九六〇）。筆名おのえ、久留嶋武彦、尾上、尾上新兵衛、新兵衛、武、海上水兵衛、臂坊生等。自清戦争の從軍し、雑誌『少年世界』に戦記等を連載。明治三十六年巖谷小波の助勢を得て口演童話會を開催、二十九年お伽俱樂部を興し、四十三年東京青山の早蕨幼稚園を開園經營、また口演研究の同字會を主宰。門下にお倍季雄、天野雉彦、長沼依山、内山寛堂等。

著書 『陸海軍人生活』（尾上新兵衛名、鶴崎一畝共著、明治二十年五月）、『二十七回博覧會館「少年叢書」』（撰『戦産』（同、明治二十三年十一月）、『新又明主義—附雄辯術』（大正五年十一月十日）、『二百廣島・先憂會出版部』（『心のこゝろ』）（久留嶋武彦名、合著、

浦

愛友會編、大正八年十月一日明文堂）、『俗雄辯術』（大正十三年五月五日大文堂書店）、『日本實演童話集・I』（合著、日本童話協會

・蘆谷重南編、大正十五年十一月二十日隆文館株式會社）、『日本模範童話選集』（合著、長沼依山編、昭和二年十一月二十五日同文館）、

『水雷勇士』（昭和七年十月二十一日新潮社）、『愛國少年文庫』（『新話術』（合著、昭和九年五月二十五日社會教育會編刊、社會教育會館

發賣）、『從軍記者の見たる自露戦争裏面史』（内題「從軍記者の見たる自露戦争裏面史」）



（房）、『イタリ—愛國物語』（昭和十一年十一月）、『十八日新潮社）、『往年の學風』（合著、朝日新聞社編、昭和十五年八月二十日朝日新聞社）、『肇

國神武天皇の御東征』（昭和十八年五月十日白向書房）、『忠魂と大節魂』

楠公と忠臣蔵覺坊』(昭和十八年十一月、千白白回書房)、『海の聲

鸞』(昭和十九年二月、千白白回書房)等。

文獻、生田興著『おの詩の久留島先生』(昭和十四年十一月、千白白松橋

書房)等。